

健康社会研究センター ニューズレター 第 44 号

2017.11.12 発行

◆ 目次 ◆

- 1 最新のお知らせ
- 2 主な研究成果発表
- 3 自治体共同研究会を開催しました
- 4 研究会のお知らせ

健康社会研究センターは JAGES(日本老年学的評価研究)の事務局の 1 つとして、下記のような活動に取り組んできました。

1. 最新のお知らせ

・保険者共同研究会を開催しました

- (1) 第一回保険者共同研究会が 6 月 20 日(名古屋開催参加:13 保険者 27 名)と 6 月 27 日(東京開催参加:18 保険者 35 名)に JAGES2016 参加保険者を対象に開催されました。厚生労働省の政策動向、JAGES2016 調査報告、調査データを用いた地域診断支援システムの紹介及び分析結果を報告し、各セッションでグループワークを行いました。
- (2) 第二回保険者共同研究会が 7 月 25 日(東京開催参加:19 保険者 37 名)と 7 月 28 日(名古屋開催参加:15 保険者 29 名)に開催されました。地域診断から見た課題の共有、介護予防のための地域診断データの活用と組織連携ガイドの活用、地域づくり型介護予防の実践例の紹介報告をし、各セッションでグループワークを行いました。

・『介護予防連携ガイド』完成のお知らせ

このたびは、厚生労働省・AMED 委託事業「データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究」に各方面からご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

成果物の一部である『介護予防活動のための地域診断データの活用と組織連携ガイド:地域包括ケアの推進に向けて』が完成し、その PDF 版を本日、JAGES ウェブサイトに掲載いたしました。下記より、ご自由にダウンロードいただき、広くご活用いただけますと幸いです。

<https://www.jages.net/renkei/chiikirenkei/>

この「ガイド」は、研究班が3年間蓄積してきた経験やノウハウをまとめた一冊です。地域包括ケアにかかわる自治体の実務担当のみなさまにお配りいただければと思います。

あらためまして、このたびのみなさま方の並々ならぬご協力に心より感謝申し上げます。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

2017 年 3 月

東京大学医学系研究科健康教育・社会学分野 近藤尚己

・パンフレット2種類できました(研究者・行政向け、一般の方向け)

下記より、ご自由にダウンロードいただけます<<https://www.jages.net/>>

実物をご希望される方は事務局<admin@jages.net>までお知らせ下さい。

・JAGES 研究会が開催されました

- 1) 2017 年 11 月 12 日、日本福祉大学名古屋キャンパス 7B で、11 月の定例研究会が行われ、約 29 名が参加しました
- 2) 2017 年 10 月 15 日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟第 6 セミナー室で、10 月の定例研究会が行われ、約 37 名が参加しました

- 3) 2017年9月3日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟第6セミナー室で、9月の定例研究会が行われ、約43名が参加しました
- 4) 2017年8月9～11日、伊豆山研修センターで、8月の定例研究会が行われ、約26名が参加しました
- 5) 2017年7月29日、日本福祉大学名古屋キャンパス7Bで、7月の定例研究会が行われ、約41名が参加しました
- 6) 2017年6月25日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟第6セミナー室で、6月の定例研究会が行われ、約44名が参加しました
- 7) 2017年5月28日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟第6セミナー室で5月の定例研究会が行われ、約46名が参加しました
- 8) 2017年4月23日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟第1・2セミナー室で4月の定例研究会が行われ、約59名が参加しました
- 9) 2017年3月12日、日本福祉大学名古屋キャンパス7Bで3月の定例研究会が行われ、約43名が参加しました
- 10) 2017年2月12日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟2階第1第2セミナー室で2月の定例研究会が行われ、約54名が参加しました

・プレス発表が行われました

- 1) 2017年9月29日、日本福祉大学名古屋キャンパス7Aにて、記者に向けたプレス発表会が行われ、3プレスリリース(上記 No. 121-17-14～123-17-16)が紹介されました
- 2) 2017年7月27日、日本福祉大学名古屋キャンパス7Aにて、記者に向けたプレス発表会が行われ、10のプレスリリース(上記 No. 111-17-04～120-17-13)が紹介されました
- 3) 2017年5月19日日本福祉大学名古屋キャンパス7Aにて、記者に向けたプレス発表会が行われ、3つのプレスリリース(上記No. 108-17-01～110-17-03)が紹介されました
- 4) 2017年3月31日日本福祉大学名古屋キャンパス7Aにて、記者に向けたプレス発表会が行われ、6つのプレスリリース(上記 No. 102-16-32～107-16-37)が紹介されました

2. 主な研究成果発表

<書籍>

- 1) 鈴木佳代: 第5章 家族・社会関係とQOL—生活の質を高める「人との関わり」とは、猪口孝(監修), 村山伸子+藤井誠二(編著)「QOLと現代社会「生活の質」を高める条件を学際的に研究する」:115-138, 明石書店, 2017
- 2) 引地博之, 近藤克則: 第6章 地域社会とQOL—ソーシャル・キャピタルと心の健康, 猪口孝(監修), 村山伸子+藤井誠二(編著)「QOLと現代社会「生活の質」を高める条件を学際的に研究する」:139-164, 明石書店, 2017

<論文等>

- 1) Saito Masashige, Kondo Naoki, Aida Jun, Kawachi Ichiro, Koyama Shiho, Ojima Toshiyuki, Kondo Katsunori. (2017) Development of an instrument for community-level health related social capital among Japanese older people. *Journal of Epidemiology*. 27(5): 221–227
- 2) Yokobayashi K, Kawachi I, Kondo K, Kondo N, Nagamine Y, Tani Y, et al. Association between Social Relationship and Glycemic Control among Older Japanese: JAGES Cross-Sectional Study. *PLoS One*. 2017;12(1):e0169904. PubMed PMID: 28060887. Pubmed Central PMCID: PMC5218475.
- 3) Tsuboya T, Aida J, Hikichi H, Subramanian SV, Kondo K, Osaka K, et al. Predictors of decline in IADL functioning among older survivors following the Great East Japan earthquake: A prospective study. *Social Science & Medicine*. 2017 Jan 18;176:34-41. PubMed PMID: 28122269.
- 4) Tani Y, Kondo N, Noma H, Miyaguni Y, Saito M, Kondo K. Eating Alone Yet Living With Others Is Associated With Mortality in Older Men: The JAGES Cohort Survey. *J Gerontol B Psychol Sci Soc Sci*. 2017 Jan 15;in press. PubMed PMID: 28093448.

- 5) Saito T, Murata C, Aida J, Kondo K. Cohort study on living arrangements of older men and women and risk for basic activities of daily living disability: findings from the AGES project. BMC Geriatr. 2017 August 16;17(1):183.
- 6) Saito M, Kondo N, Aida J, Kawachi I, Koyama S, Ojima T, et al. Development of an instrument for community-level health related social capital among Japanese older people: The JAGES Project. Journal of epidemiology / Japan Epidemiological Association. 2017 May;27(5):221-7. PubMed PMID: 28169107.
- 7) Murata C, Saito T, Tsuji T, Saito M, Kondo K. A 10-Year Follow-Up Study of Social Ties and Functional Health among the Old: The AGES Project. International Journal of Environmental Research and Public Health. 2017;14(7):717. PubMed PMID: doi:10.3390/ijerph14070717.
- 8) Matsuyama Y, Aida J, Tsuboya T, Hikichi H, Kondo K, Kawachi I, et al. Are lowered socioeconomic circumstances causally related tooth loss? A natural experiment involving the 2011 Great East Japan Earthquake. American Journal of Epidemiology. 2017:1-9.
- 9) Matsuyama Y, Aida J, G WR, Tsuboya T, Koyama S, Sato Y, et al. Dental status and compression of life expectancy with disability in Japan. Journal of dental research. 2017:22034517713166.
- 10) Inoue Y, Andrew S, Yazawa A, Aida J, Kawachi I, Kondo K, et al. Adverse childhood experiences, exposure to a natural disaster and posttraumatic stress disorder among survivors of the 2011 Great East Japan earthquake and tsunami. Epidemiology and Psychiatric Sciences. 2017 May 15:1-9. PubMed PMID: 28502272.
- 11) Fujiwara T, Takamoto I, Amemiya A, Hanazato M, Suzuki N, Nagamine Y, et al. Is a hilly neighborhood environment associated with diabetes mellitus among older people? Results from the JAGES 2010 study. Social Science & Medicine. 2017 Apr 10;182:45-51. PubMed PMID: 28412640.
- 12) 齊藤雅茂・宮國康弘・齋藤民・尾島俊之・近藤克則 (2017)「近隣住民による独居高齢者への見守り活動のプロセスと未充足ニーズの評価:見守り活動は支援すべき人々をカバーできているのか」『社会福祉研究(鉄道弘済会)』129: 85-92
- 13) 齊藤雅茂 (2017)「(特集:高齢者の孤立を考える)高齢者の社会的孤立予防・軽減にむけた地域診断の意義と可能性」『Aging & Health(公益財団法人 長寿科学振興財団)』, 82: 18-21
- 14) 齊藤雅茂 (2017)「地域単位の健康関連ソーシャル・キャピタル指標開発の試み」近藤克則編『ソーシャル・キャピタルと健康・福祉(叢書ソーシャル・キャピタル6)』ミネルヴァ書房, 第1章, 印刷中(入稿済み)
- 15) 横山由香里(2017)「老いること, 死にゆくこと」山崎喜比古監修・朝倉隆司編『新・生き方としての健康科学』有信堂高文社, pp.200-242
- 16) 辻大土, 笹川修, 中村信次, 小平英志, 近藤克則, 山崎喜比古:大学生におけるスポーツ系の部・サークル活動参加とストレス対処力, うつ・不安感の縦断研究: 2年間(3時点)の追跡調査に基づく分析. 運動疫学研究 19(1): 24-35, 2017.

<学会発表>

- 1) 第59回日本老年社会学会大会 (2017.6.14~16 名古屋国際会議場)
テーマ: 地域包括ケアの時代と老年社会科学
【合同シンポジウム 10】「大独居時代の地域支援に向けて」(2017.6.15 15:00~17:00 2号館 3F 231 第17会場)
司会: 齋藤民
講演: 齊藤雅茂
演題: 地域住民による独居高齢者への見守り活動の意義と課題
【合同シンポジウム 16】「健康日本21(第2次)の視点からみた介護予防の推進」(2017.6.16 10:00~12:00 2号館 3F 234 第21会場)
講演: 近藤克則
演題: 高齢期の健康格差の縮小に向けた予防策 —JAGES プロジェクトの知見から—
【シンポジウム】「コホート研究からの新たな挑戦 —ビッグデータの更なる活用を目指して—」(2017.6.16 13:00~15:00 2号館 3F 234 第21会)
座長: 近藤克則

講演: 村田千代栄「日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトの概要とその可能性」

講演: 竹田徳則「介護予防推進と事業評価 —武豊プロジェクト—」

【一般報告(ポスター発表)】テーマ: 社会参加・社会貢献③(2017.6.16 15:00~15:30 1~2号館 3F 通路)

講演: 齊藤雅茂, 近藤克則, 近藤尚己, 相田潤, 尾島俊之

演題: 地域単位のソーシャル・キャピタルが高齢者のその後の孤立化に及ぼす影響 —JAGES プロジェクト 2010・2013 パネルデータより—

【一般報告(ポスター発表)】テーマ: 認知機能・認知症①(2017.6.15 10:00~10:30 1~2号館 3F 通路)

発表者: 伊藤美智予, 加藤憲, 鈴木亮子, 中村裕子, 村田康子

発表内容: 特別養護老人ホームにおける認知症ケアの質と教育・研修システムとの関連 —パーソン・センタード・ケア理論の VIPS フレームワークを用いた認知症ケアの質の評価—

【一般報告(ポスター発表)】テーマ: 社会参加・社会貢献①(2017.6.15 10:00~10:30 1~2号館 3F 通路)

発表者: 深谷太郎, 小林江里香, 鈴木宏幸, 西真理子, 小池高史, 長谷部雅美, 村山陽, 野中久美子, 齊藤雅茂, 藤原佳典

発表内容: 社会的孤立が 2 年後・4 年後の健康等に与える影響 —首都圏高齢者の地域包括的孤立予防研究(CAPITAL study)より—

【一般報告(ポスター発表)】テーマ: 介護者①(2017.6.15 10:00~10:30 1~2号館 3F 通路)

発表者: 鈴木亮子, 尾之内直美, 湯原悦子, 伊藤美智予, 国井由生子, 眞智さおり

発表内容: コーピングの観点からみた認知症患者の介護家族への支援プログラムの効果検討 —当事者団体の取組みより—

2) 第 27 回 日本疫学会学術総会

「ライフコース・ヘルスケアを支える疫学 —研究基盤から社会実装まで—」(2017.1.25~27 ベルクラシック甲府)

【口演】

① 尾島俊之, 倉田貞美, 加賀田聡子, 堀井聡子, 横山由香里, 相田潤, 齋藤雅茂, 近藤尚己, 近藤克則: Age and Dementia Friendly Cities 指標の開発と地域格差診断(2017.1.27.O-47)抄録集 p84.

② 近藤克則, 平松誠, 宮國康弘, 齊藤雅茂: 日常生活圏域ニーズ調査データによる地域診断は可能か: JAGES プロジェクト. (2017.1.27.O-52)抄録集 p85.

【ポスター発表】

① 宮國康弘, 近藤克則, 平松誠, 齊藤雅茂: 地域診断指標の研究: 「通いの場」の箇所数・社会参加割合と要支援・介護認定率の関連. (2017.1.27.3-A1P-182)抄録集 p138.

② 齋藤順子, 近藤尚己, 齊藤雅茂, 谷友香子, 長谷田真帆, 田淵貴大, 近藤克則: 高齢者における要介護状態の変化パターンと閉じこもりとの関連: JAGES コホート研究. (2017.1.27.3-A2P-217)抄録集 p147.

<講演>

1) 憩いのサロン 10 周年ゆめフェスタ

近藤克則, 竹田徳則「これまでの 10 年、これからの 10 年」

(2017.6.30 13:30~15:30 武豊町中央公民館 講堂)

<メディア掲載・放送等>

1) 朝日新聞朝刊, 朝日新聞デジタル WEB で武豊サロン, 松戸プロジェクト, 要支援・要介護リスク尺度が紹介されました(2017.8.2 6:00 田村建二=朝日新聞記者編集委員)

「人のため」で老後いきいき(竹田徳則, 近藤克則, 辻大士)

http://www.asahi.com/articles/ASK815V8WK81UBQU01B.html?iref=com_api_spe_oitop

3. 自治体共同研究会を開催しました

・名古屋市共同研究会: 2017 年 1 月 31 日、2 月 16 日、3 月 10 日、4 月 21 日、5 月 18 日、6 月 14 日

- ・東海市共同研究会: 2017年4月21日、7月14日
- ・武豊町共同研究会: 2017年3月24日、5月26日、9月1日
- ・豊橋市共同研究会: 2017年1月23日
- ・常滑市共同研究会: 2017年2月17日、5月19日、9月1日
- ・リハDB研究会: 2017年6月24日、9月29日

4. 研究会のお知らせ

<特別セミナーのお知らせ>

- 1) 特別セミナー「社会疫学とは何か」

原著執筆監修者のイチロー・カワチハーバード大学教授および日本の社会疫学研究・健康格差研究の第一人者である近藤克則千葉大学教授をお招きして社会疫学の到達点と展望について語っていただきます。

日時:2017年11月24日(金)16:00~18:00

場所:東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫講堂

<プレス発表開催のお知らせ>

- 1) 名古屋会場:2017年12月8日(金)日本福祉大学名古屋キャンパス

<JAGES 関連>

- 1) 2017年12月のJAGES研究会

【日時】2017年12月17日(日)10時30分~17時00分(予定)

【場所】東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟 第6セミナー室

ニューズレター第44号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<p-tanaka*n-fukushi.ac.jp(田中)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元:健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因ー社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。